

童繪作家

池原
昭治
展

く残しておきたい狭山の風景く

令和4年 3月19日(土) ~ 5月15日(日)迄



「緑のトンネル」

童絵作家・池原昭治展

～残しておきたい狭山の風景～

「お茶番るまち狭山」

「狭山稲荷山公園」

日本民話の豊かな世界を語り継いでほしいとの思いで活動続ける狭山市在住の童絵作家・池原昭治氏。日本各地を巡り、その土地の歴史や自然、人との出会いから生まれた昔ばなしの世界を童絵で残し続けています。

本展では、広報さやまに2012年4月号から2020年7月号まで掲載されていた『残しておきたい狭山の風景』（全100回）で描かれた中から選りすぐりの作品を約50点展示。その中から狭山市の文化財などをテーマとした作品を取り上げ、狭山の歴史や風土・文化財・史跡・祭り・風習など紹介し、あわせて令和版「狭山市郷土かるた」の原画46点と昭和版48点を新旧観覧。また、本展のために描き下ろされた新作の屏風絵を展示します。池原氏の作品をきっかけに狭山の歴史や風土を学び知り、その魅力を再発見しましょう。

香川県高松市出身。1963年に東映動画に入社し、アニメーターとして働く（「太陽の王子 ホルスの大冒険」「長靴をはいた猫」「海底3万マイル」「どうぶつ宝島」他）。1982年から、テレビ「まんが日本昔ばなし」の演出・作画・美術を担当する。現在は、埼玉県狭山市に在住しており、埼玉県西部地域の民話や昔ばなしを収集し、独特のほのぼのとしたタッチで描いている。



狭山市在住
童絵作家
いけはら しょうじ
池原昭治

童絵の広場

（1階まいまいホールにて開催）

池原氏特製の童絵ぬり絵コーナーや、新作童絵アニメーション映像の上映。童絵作品の前で記念撮影が行えるフотスポットがあります。

- 開催期間：令和4年3月19日（土）～5月15日（日）
企画展開催期間中開催
※イベントの都合で開催できない日程もあります
- 場 所：狭山市立博物館 1階まいまいホール
- 参 加 費：入館料のみ

ベビーカーツアー

～はじめてのミュージアム～

お子さんと一緒に気兼ねなく博物館を見学しませんか？ベビーカーや抱っこひものままゆっくりと見学。（途中退席もできます）当館学芸員が企画展と常設展示室をご案内します。

- 開催日：令和4年4月26日（火）、5月12日（木）
- 開催時間：10:30～11:30
- 集合場所：狭山市立博物館 1階ロビー
- 参 加 費：入館料のみ（申込み不要）

<企画展関連イベント>

さやまの風景散歩～狭山市史跡巡り～

狭山市在住の童絵作家・池原氏の描いた狭山の風景ゆかりの地を当館学芸員の解説をまじえながら巡ります。※雨天延期

- 日 時：令和4年4月21日（木）
（予備日4月28日（木））
- 開催時間：9:30～12:00
- 定 員：15名（応募者多数の場合抽選）
- 参 加 費：300円（保険料など）
- 申 込 み：往復はがき（1枚で2名まで申込み可）
＜往信＞参加者全員の氏名（読み仮名）、住所、電話番号、年齢
＜返信＞郵便番号、住所、氏名を明記のうえ博物館へ送付
- 締め切り：令和4年4月7日（木）必着

【入間川地区ルート（約4km）】

狭山市駅西口集合→綿貫家関連→徳林寺→八幡神社→ごろー坂→清水八幡→本富士見橋→諏訪神社→慈眼寺→狭山市駅西口解散

工作教室「春のまいまい体験講座」

人気の砂絵や企画展にちなんだ工作もあります。

- 日 時：企画展開催期間中の土・日・祝日
- 受付時間：①10:30～11:45
②13:30～14:45
- 参 加 費：200～350円

当日先着順
整理券配布
人数制限有



※混雑が予想される場合は、入館を制限させていただきます。
※新型コロナウイルス感染症やその他の事情により各種予定は変更になる場合があります。



狭山市立博物館

<http://sayama-city-museum.com>

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1丁目23番地1

電話:04-2955-3804 FAX:04-2955-3811

狭山市立博物館HP

《指定管理者》アクティオ・東急コミュニティー共同事業体

<アクセス>

- ◆西武鉄道池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩約3分
- ◆西武鉄道新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅行」終点下車、徒歩約3分
- ◆圏央道狭山日高インターより車で約15分 ※ご来館は公共交通機関をご利用ください。

